

三原市長

岡田 吉弘 殿

要 望 書

令和5年10月16日

三原商工会議所

三原市の令和6年度の予算編成に対する要望について

平素から、市民生活の向上と地域経済の発展に向けてご尽力いただくとともに、商工会議所の事業活動に多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、地域経済を支え雇用確保を担っている中小企業・小規模事業者は、燃料価格の高騰、原材料価格の高騰、人手不足により大変厳しい経営環境に置かれています。インフレ傾向が当面続くことが想定される中、本所も「地域総合経済団体」としての役割を果たすため、市内事業所の経営力維持向上等に日々努めているところでございます。

この度、三原市に対する要望について会員の意見を取りまとめ、令和6年度の予算編成において予算措置を講じていただきたく次の通り要望させていただきます。

今後も、市内事業者の支援・地域の課題解決に向け、綿密な連携により情報交換をさせていただきながら、明るい三原の未来のために取り組んでまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

(要望事項)

(1) 佐木島の観光振興について

佐木島は、夏のトライアスロンの開催、春には花見客が訪れるなど、日本一新幹線駅から近い離島として、三原市内外から来訪者も増えており、三原市としてもその魅力拡大に向け取り組まれていると推察します。令和5年には、花見時期のグリーンスローモビリティの運行実験や、島内の全体を規制して自転車ロードレースも開催されたり、NOT A HOTEL のプロジェクトなど、今後より多くの方が佐木島を訪れる機会が増えて来ることが期待されています。こうした中、利用者等からは、トイレが不足しているため、増設を希望する声が寄せられています。

現在、来訪客を迎える港には公衆トイレが設置されておりますが、向田港は「和式トイレ」のみ、須ノ上港は「仮設トイレ」のみの設置となっており、行事が行われる際には、近隣の施設や事業所にご協力いただいている状況となっているようです。

そこで、今後の佐木島の観光振興で様々な年代の方が来訪されることを見込み、子どもからお年寄りまでが使用しやすい、トイレの洋式化やトイレ設備の新規設置についてご検討くださいますようお願いいたします。

(2) 三原市によるボランティア募集のプラットフォームの立ち上げについて

三原市内で開催している祭りでは、それぞれの実行委員会が祭り公式 HP や広報みはら、学校へ直接訪問してボランティアの募集・お願いをしておりますが、人員の確保に苦慮しております。

三原市からも、大学生を対象としたボランティア募集の方法についてご相談を受けたことから、イベントボランティア募集のためのプラットフォームの開設、市内にある学校へボランティア登録と依頼ができるシステムを設けることが必要と考えます。

現在、小・中学生を対象とした募集は、教育委員会に窓口になっていただき、「各団体」→「教育委員会」→「校長会」→「各学校」→「生徒・児童」→「各団体」という流れで募集されております。

これに加え、「高校・大学生」を対象とした窓口を設けていただきたくお願いします。

ボランティアの募集プラットフォームがあることで、広くボランティアを募集できるだけでなく、三原市からの募集ということで参加者側からも安心感を得られるため参画しやすくなると考えます。

また、学生の傾向として、学校以外での活動の充実を図るためボランティア活動への意識が高まっていると聞いています。その機会を提供するため、かつ、ボランティアに参加することで郷土愛を醸成することにもつながると考えられますのでご検討くださいますようお願いいたします。

(3) イベント、展示会等への出展依頼について

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行し、三原市でも様々なイベントが開催可能となりました。

その中で、三原市で取りまとめるイベントへの出店(飲食ブース等)の依頼をいただきますが、担当者単位で情報のやり取りがされています。

このような要請をいただく際には、依頼文・出展要項・申込書をご準備いただき、三原商工会議所宛にご依頼いただくようお願いいたします。

今後も、三原市と情報共有を行いながら、三原の活性化に向け取り組んでまいりますので引き続きよろしくようお願いいたします。

(4) 三原市地域商業活性化支援事業補助金について

【三原市地域商業活性化支援事業補助金交付要綱】

第3条 補助対象となる事業は次に掲げる事業とする。ただし従前において本補助金の交付を受けた事業者が行う事業（当該補助事業を継続しかつ新たに事業を行う場合の事業を除く。）は除く。

以上の要綱により、新規開業の際に利用した方は、店舗の改装時には利用できない制度になっていますが、新規開業後、改装を希望し相談を受けることが年間に数件あります。新規に事業を開始してもらうことは大切なことですが、事業の継続は更に重要なことと考えます。

当該補助金利用後10年以上経過し事業を継続している場合は、再度利用できるように制度の改正をご検討くださいますようお願いいたします。

(5) 公共事業予算の安定的・継続的な確保について

建設業は、地域経済・雇用を支えるとともに、災害時には最前線で復旧作業に当たるなど、地域の安心・安全を確保し地域の守り手として大きな役割を担っております。

一方で、建設資材の価格高騰への対応、将来へ向けての人材確保・育成、生産性の向上など深刻な課題を抱える業界の維持を図るには、さらなる経営基盤の強化・安定が必要です。

年間を通じて安定した経営を維持していくためにも、公共工事予算額の一定量の継続的確保と市内事業者の受注機会の確保について引き続きお願いいたします。

また、最低賃金の上昇などに伴い、事業者の労務費の価格転嫁は急務となっています。

商工会議所では、関係閣僚・経団連会長・連合会長をメンバーとする「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」において、「パートナーシップ構築宣言」事業者の登録拡大を図っており、全国約 33,000 社（9 月現在）が、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者が連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」側の立場から企業の代表者の名前で宣言しています。発注側と受注側は常にパートナーとして平等であり、健全な取引関係の実現が不可欠です。

つきましては、公共工事においても適正な予算措置をいただき、労務費等の確保についてもご配慮くださいますようお願いいたします。

また、併せて三原市発注の物品調達に関する単価につきましても、仕入れ価格、人件費、燃料費等の上昇も踏まえ、決して前年同額・マイナスシーリングありきの設定にならないように予算措置をお願いいたします。

(6) 道路の整備について

① 市内の市道(特に宮浦市街地)には無数の十字路・T字路が存在します。本所運輸車輛部会からの要望により、路面への「十」、「T」の白線表示をしていただいた結果、出会い頭の交通事故が劇的に減少したという過去の実績があります。

しかしながら、以降年数が経過して、これらの白線表示は薄く消えかけております。土地勘のないドライバーは前方に十字路・T字路がある認識がないため、減速することなく交差点に進入するため、たいへん危険です。

市街地内は、自転車通学の学生も多数通行するため対策が求められます。早急な点検をお願いするとともに、一旦停止交差点の停止位置の白線が消えかけている場所も含め改善をお願いいたします。

② 本市内の幹線道路や主要な交差点においては、特に三原バイパス頼兼ランプ付近では、朝夕の交通渋滞が著しく、市民の日常生活の安全・安心、さらには地域の産業活動にも大きな影響を及ぼしています。

また、豪雨災害を教訓として、大規模災害時における避難手段や防災機能強化の視点に立った道路整備の重要性及び国土強靱化に資する幹線道路整備の必要性は、ますます高まっています。

さらに、将来にわたりまちの活力を維持するためには、重要な都市基盤である幹線道路の整備が必要不可欠であり、幹線道路ネットワークの形成による民間投資の拡大や雇用の促進、地域経済の好循環の醸成など、多くのストック効果が期待されるところであります。

加えて、重要港湾である尾道糸崎港内港地区の再生に合わせ、賑わい機能の強化を進めている中で、アクセス向上のための幹線道路の整備は必須条件であります。よって、三原市においては下記事項について、特段の御配慮をいただけるようお願いいたします。

- ・高規格道路 福山本郷道路(三原～本郷間)の早期着手について
- ・三原バイパスの既存エリアの拡幅化について
- ・県道三原本郷線の拡幅工事の早期完成について

令和5年10月16日

三原商工会議所

会 頭 森 光 孝 雅